

開催概要

○主な開催内容

- ・ GCSプラン2020の説明
- ・ グループワーク
 - ①GCSプラン2020について
 - ②「大宮駅周辺のツボとなる場所」
「重点的につながりを創出すべき場所」について
 - ③意見の共有
- ・ 総括



○日時・参加者

日 時	8月20日（木）18時～20時	8月22日（土）14時～16時
場 所	大宮区役所2階201、202会議室	
参加者数	28名	21名
傍聴者数	8名	0名

主な意見概要

①GCS プラン 2020 について

項目	意見概要
まちづくりの方向性について	・ <u>東日本の玄関口にふさわしいポテンシャル</u>を活かせるとうい。 ・ <u>住み良さ</u>を強みとして活かせるとうい。 ・ 今のプランでは「<u>大宮らしさ</u>」がわからない。 ・ <u>楽しいまち、行きたくなるまちに必要な要素</u>を検討してほしい
これからのまちづくりに必要な視点について	・ <u>女性、子ども、障がい者、初めて大宮にきた人の視点</u>で考えることが必要。 ・ <u>広域的な視点、コロナによる社会の変化や長期的な視点</u>を入れた検討が必要。
計画の対象範囲について	・ 対象区域を<u>ターミナル街区までとするのは狭すぎる</u>。氷川参道辺りまでを含める区域としてはどうか。
導入機能の考え方について	・ 駅前は交通空間を広げるくするのではなく、<u>地価の高さを活かす活用を促した方が良</u>い。 ・ 地域経済の発展につながるような<u>民間の提案を受け入れ、魅力や発展性のある</u>まちづくりをしてほしい。 ・ 限られた場所に機能を詰め込みすぎず、<u>全体のバランスを見た検討が必要</u>である。
賑わいを広げたいエリアについて	・ <u>国道17号まで賑わいを広げてほしい</u>。 ・ <u>西口側の顔づくり、賑わい交流軸の形成</u>に関する記述を充実させてほしい。 ・ 駅前の<u>市営桜木駐車場も再開発エリアに</u>入れてはどうか。 ・ 南銀座商店街を文化・芸能・エンターテインメントを発信する場としたい。<u>駅前と南銀座商店街のつながりが重要</u>。

主な意見概要

①GCS プラン 2020 について

項目	意見概要
快適な歩行者空間の創出について	・ 駅前の<u>地上は歩行者のための空間</u>とするために、周辺街区との一体化や車両交通の地下化などが検討できないか。 ・ 駅とまち、西口と東口の<u>つながりを強め、快適な歩行空間があると良い</u>。 ・ <u>地下レベルの通路があっても良い</u>のではないかな。雨でも濡れずに移動したい。 ・ 地下街にの計画には反対である。駅に人々が集中するのではなく、<u>一の宮通りなどの街路に活気が出るように</u>配慮してほしい。 ・ <u>南銀座商店街も主要な歩行者動線軸に</u>位置付けてもらいたい。 ・ デッキを活かして<u>歩車分離</u>を実現できると良い。 ・ デッキや周辺の高い建物で<u>駅前が暗くならないように</u>したい。 ・ 駅前広場や乗り換え移動の<u>バリアフリーを改善して</u>、使いやすくしてほしい。 ・ 西口のバリアフリー化がされていないので、解消してほしい。
車両交通について	・ 交通混雑の緩和は、<u>広域的な視点やソフト施策も含めて</u>考えた方が良い。 ・ 地下車路は<u>具体的なネットワークを検討すべき</u>。地下車路と駅はつなげた方が良い。 ・ <u>バスターミナルと荷捌き車両は地下で良い</u>。地下を利用できれば、地上の空間の自由度が高まる。地上にバスターミナルを配置するならば、技術面・コスト面の理由と図面を示してほしい。 ・ バスの自動運転が実現すると、<u>必要な空間がコンパクト化</u>するのではないかな。 ・ <u>コミュニティバスや公共交通のネットワークの改善</u>が必要。
事業内容・スケジュールについて	・ <u>できるだけ早く</u>実現してほしい。 ・ 事業の<u>ステップや期間、駅課題解決の流れ、予算などをわかりやすく</u>してほしい。 ・ <u>新東西通路はいつごろ完成</u>するか、<u>歩行者通行量はどの程度か</u>知りたい。 ・ 電気、ガス、水道などの<u>インフラ整備が喫緊の課題</u>ではないかな。

主な意見概要

②大宮駅周辺整備のツボとなる場所／重点的につながりを創出すべき場所

項目	意見概要
駅周辺のツボとなる場所について	・ <u>東口のワクワク感</u>を残したい。 ・ デッキによって <u>駅からまちが見える関係</u>になる。 ・ 南地区も含めて、<u>ゆとりある駅前広場</u>を検討して欲しい。 ・ 個人商店の活気を更に創出し、<u>世代によらず楽しめるまち</u>であってほしい。 ・ 南銀座商店街は、<u>文化や芸能を発信できる場所</u>としていきたい。 ・ 駅の観光案内所は、<u>わかりやすい観光案内</u>ができる場所であってほしい。 ・ <u>区役所跡地</u>、<u>大宮小学校のエリア</u>、<u>市営桜木駐車場</u>は市民が行きたい場所にしていきたい。
駅周辺の魅力形成やつながりを生み出すアイデアについて	・ 駅と<u>銀座通り、南銀座商店街、一番街、一の宮通りのつながり</u>をつくる。各街路の<u>結節点となる空間の整備</u>を行う。 ・ 地上には、<u>歩行者のための緑や滞留空間</u>をつくる。 ・ 各階の<u>移動をスムーズ</u>にする。口の字ネットワークは24時間開放にする。 ・ 駅は<u>地上・地下・2階の3層に改札を設ける</u>ことで利用しやすくなる。 ・ <u>新東西通路の出口の位置たまちとの結節点のあり方、名称</u>について意見交換したい。 ・ 再開発は<u>大宮にふさわしいもの</u>にすべき。 ・ <u>中央通りは緑を引き込む軸</u>になる。緑化による景観への配慮も必要。 ・ <u>一の宮通りも緑を増やしたい</u>が、幅員がそれほど広くない。 ・ <u>景観協議の仕組み</u>をつくる必要がある。 ・ 各再開発の<u>地下の高さレベルをあわせ</u>、公共側と連続性のある地下街にして欲しい。

主な意見概要

②大宮駅周辺整備のツボとなる場所／重点的につながりを創出すべき場所

項目	意見概要
広域的なツボとなる場所について	・ <u>氷川の杜や参道の緑</u>が良い。 ・ <u>大宮公園</u>や<u>見沼田んぼ</u>はすぐに行ける場所にあり、緑が魅力的である。 ・ 周辺も緑、治安、利便性、坂の少なさなどによる<u>幅広い年代の住み良さ</u>がある。 ・ 大宮の<u>文化資源は鉄道博物館や盆栽村</u>等だが点在している。 ・ 羽田空港との鉄道アクセスが強化されるので、<u>国際都市としての魅力も必要</u>。
広域的な魅力形成やつながりを生み出すアイデアについて	・ <u>駅前と見沼田んぼ</u>、<u>さいたま新都心と氷川参道</u>のつながりをつくることが重要。 ・ 鉄道の沿線住民がバス利用者が<u>利便性や文化を発信</u>する。 ・ 駅前のポテンシャルを活かし、<u>働くこともできるまち</u>になると良い。

主な意見概要

③デザイン調整ワーキングの進め方について

項目	意見概要
開催方法について	・参加者の<u>意見があまり反映されてこなかった</u>。プランの検討経緯を丁寧に説明してほしい。 ・これまでの<u>参加者はどのように決まっていたのかが疑問</u>。 ・<u>若い世代</u>がもっと参加した方が良い。 ・各種計画の関係性やデザイン調整ワーキングの位置付けが<u>分かりにくい</u>。 ・<u>市民や住民への広報が足りない</u>。町内会、学校等をもっと活用すべき。 ・<u>アンケートやインタビュー</u>等で、市民や来街者の意見を聞いてほしい。 ・定期的に開催してほしい。
ワーキングの論点について	・<u>計画の相互の関係が分かりづらい</u>ので、議論してほしい。 ・これからは<u>将来像や課題への対応、具体的な取組</u>について議論を深めるべき。 ・議論の対象が<u>駅周辺か、広域的かを明確にして</u>意見交換を行ってほしい。

テーブル毎の記録：8/20（木）Aグループ

都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ1：GCSプラン2020について

まちづくりの方向性

- ・「関東の住みたいまち4位」の強みをいかした方がよい
- ・大宮が東日本の玄関口と言われているが、西日本の玄関口の品川に対抗できるポテンシャルを発揮できているのか
- ・今のプランでは、どのようなまちにしたのか読み取れない。交流のための広場や空間が本当に「大宮らしさ」なのか？

駅からの回遊

- ・初めて大宮に来た人がどこに行き、どこを通るのかを把握した上での計画になっているのか？

これまでの進め方

- ・これまでの議論が地権者にとって良い議論になっていたか疑問
- ・意見の反映が見られず、3年間の議論で検討が深度化したかわからない
- ・銀座通りのまちづくりを考えてきた方々がこれまでの議論に呼ばれていなかった
- ・パブリックミーティングでも意見を言ってきたが反映されなかった
- ・デッキもある時点でプランが変更になったと聞いた。変更点があるならば、説明が必要ではないか
- ・これまでではどんな絵を描くかという議論だったが、もっと取組みの中身の話をするべき

バスターミナルの地下化

- ・バスターミナルの地下化は前回までも意見を挙げたが、具体的な検討結果が見えない。地下を利用できれば地上の自由度が高まる
- ・荷捌き車両も地下で良い
- ・大宮駅は橋上駅であり、バスターミナルを地下にすると、乗り換えが不便になる可能性がある
- ・何故地上のバスターミナルにこだわるのか。技術面、コスト面等の理由や図面を示してほしい
- ・大宮ではすぐ地下水が出るらしいが、高層ビルを再開発で建てた時の傾きや陥没も不安である

今後の進め方

- ・できるだけ早く進めてほしい
- ・みんなが賛成できるような計画であれば、事業も早く進むと思う
- ・もっとまちの良い点・悪い点を整理して、必要な取組みを議論した方がよい
- ・ちょうど議論の変わり目だから不透明さがあるのかもしれない。これからは仕切り直してほしい

テーブル毎の記録：8/20（木）Aグループ

都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ2：「大宮駅周辺整備のツボとなる場所」、「重点的につながりを創出すべき場所」について

まちづくりの方向性

- ・いかに住みたいまちをつくるかが重要
- ・「大宮らしさ」とは何なのか？
- ・昼夜間人口があまり変わらず、職住近接なまちが良い。今は働けるオフィス空間や環境がない
- ・働けたり、買い物ができたりなどの様々な機能がまちに必要である
- ・大手の事業者が出てこないのは、まちに魅力がないからではないか
- ・これから羽田空港とのつながりができるのに、大宮は国際都市っぽくない。もっと文化の発信やオフィスが必要では？
- ・これまでの検討では、出店者のイメージがつかなかった。今後は、出店者の顔が見える議論が必要

バスの利用促進

- ・バスを利用するのは行き先が便利だから。住民の目線での大宮駅に来る理由をつくる必要がある
- ・利便性の高いバスターミナルをつくってほしい
- ・自動運転や通信環境の変化を考慮する必要がある。自動運転が便利になれば、小さなバスを運行して、空間が有効活用できる

駅からの回遊

- ・デッキで動線のつながりをつくる
- ・バスターミナルと駅が直結すると人が街に出なくなるのではないかな？

氷川参道

- ・氷川参道の緑が良い
- ・参道の涼しさを活かす。落ち葉があることの良さも重要

見沼田んぼ

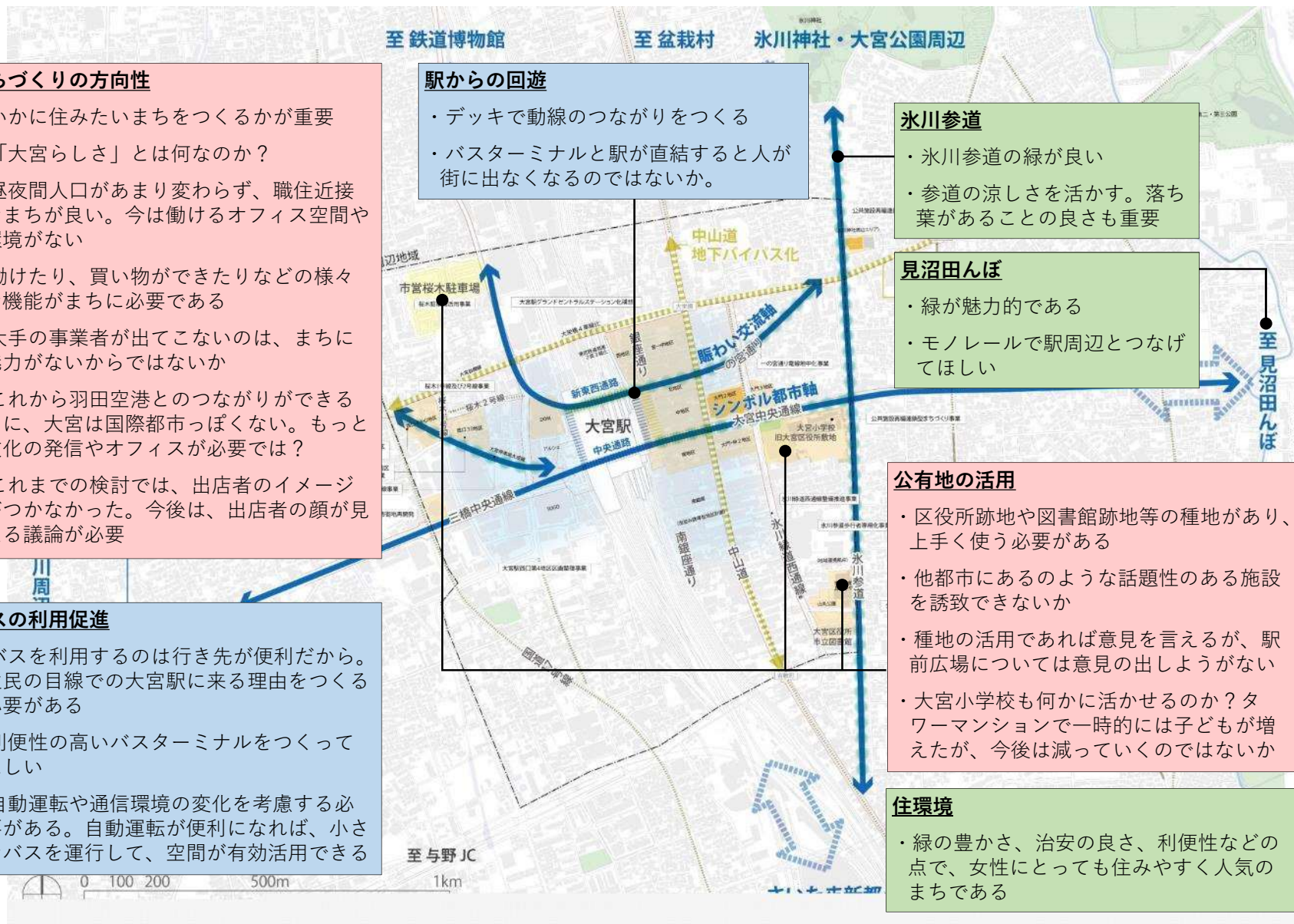
- ・緑が魅力的である
- ・モノレールで駅周辺とつなげてほしい

公有地の活用

- ・区役所跡地や図書館跡地等の種地があり、上手く使う必要がある
- ・他都市にあるような話題性のある施設を誘致できないか
- ・種地の活用であれば意見を言えるが、駅前広場については意見の出しようがない
- ・大宮小学校も何かに活かせるのか？タワーマンションで一時的には子どもが増えたが、今後は減っていくのではないかな？

住環境

- ・緑の豊かさ、治安の良さ、利便性などの点で、女性にとっても住みやすく人気のまちである



テーブル毎の記録：8/20（木）Bグループ

都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ1：GCSプラン2020について

まちづくりの方向性

- ・実際に頻繁にまちに出歩く女性、子どもの視点を大事にしたまちづくりができると良い。整備された氷川参道でも女性、子どもの利活用が多い
- ・物品購入や飲食などをインターネットで済ませる生活でなく、まちに出て楽しめるようなプランになると良い。
- ・夢のあるプランが欲しい。
- ・文章を見ると良い内容が書いてある。
- ・人工地盤よりも、都内であるような地下レベルの通路がしっかりとできると良い。
- ・新東西通路の出口周辺の敷地が狭く、事業の採算が取れないと思われる。より広域的に見てまちづくりを進めてほしい。

デッキ・周辺建物と環境

- ・デッキで地上レベルが暗くなり、空が見えない、光が入らないといったまちは好ましくない。
- ・駅周辺建物の高さを制限して暗くならないようにしてほしい。

これまでの進め方

- ・今の世代でプランをまとめておかなければ、次世代に渡すまでに計画自体がなくなってしまっているのではないか
- ・プランが変更されたことを知らなかった。
- ・地権者に優先的に計画の説明がなされてきたが、まちは地権者のものではないので、最初から市民を巻き込んだ方が良かった。今回のような会はありがたい。

駅前徒歩分離

- ・日常的に駅周辺は地面のレベルも含めて、歩行者の空間になるとよい
- ・車は基本的に地下にし、搬入等の機能を満たすよう必要最低限にすることで、地上を歩行者のための空間にできると良い

今後の進め方

- ・駅周辺の話をするのか、広域のまちづくりの話をするのか決めた上で議論したい



テーブル毎の記録：8/20（木）Bグループ

都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ2：「大宮駅周辺整備のツボとなる場所」、「重点的につながりを創出すべき場所」について

今後の進め方

- ・広域でみて、どういう全体像を描くか、その絵があれば、方向性がはっきりするのではないかな。

地上を大事にしたまちづくり

- ・今の西口デッキは大きすぎて暗い印象。そうならないと良い。
- ・駅前の地上は緑で溢れて、ベンチなどもあるとよい。
- ・ドイツの駅前のように、駅前は公園として、車は入れないようなまちが好ましい

立体的・平面的な回遊性

- ・地下レベル、地上レベル、デッキレベルのそれぞれのレベルで段差なく平面的につながっていること、また3つのレベルが立体的に連携していることが重要。
- ・巨大な人工地盤にお金をかけるのではなく、地下に力を入れて欲しい。
- ・各ビルの地下レベルを最初から合わせておくことで、連続した地下通路ができるとよい
- ・デッキ同士の階段がズレているような事例もある。そうならないように。

視点場の確保

- ・まちへのゲートのように、視点場からまちが開けてみえることが重要では。
- ・現計画だと南銀への人の流れが切れてしまう。南銀へ向けて開けていると人が流れる。
- ・改札からまちが直接見えて、まちに出れるとよい。
- ・まちが見渡せるようなデッキのづくりがよいのではないかな。



テーブル毎の記録：8/20（木）cグループ

都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ1：GCSプラン2020について

広域のまちづくりとGCSプランの関係（西）

- ・西口、賑わい交流軸の記述が不十分ではないか
- ・西口の顔をつくっていくという記述もあるが弱い

進め方について

- ・どこから手をつけていくのかはいつ頃決まるか？
- ・今後の見通しや事業のステップと、それぞれの期間を示してほしい

まちづくりの方向性

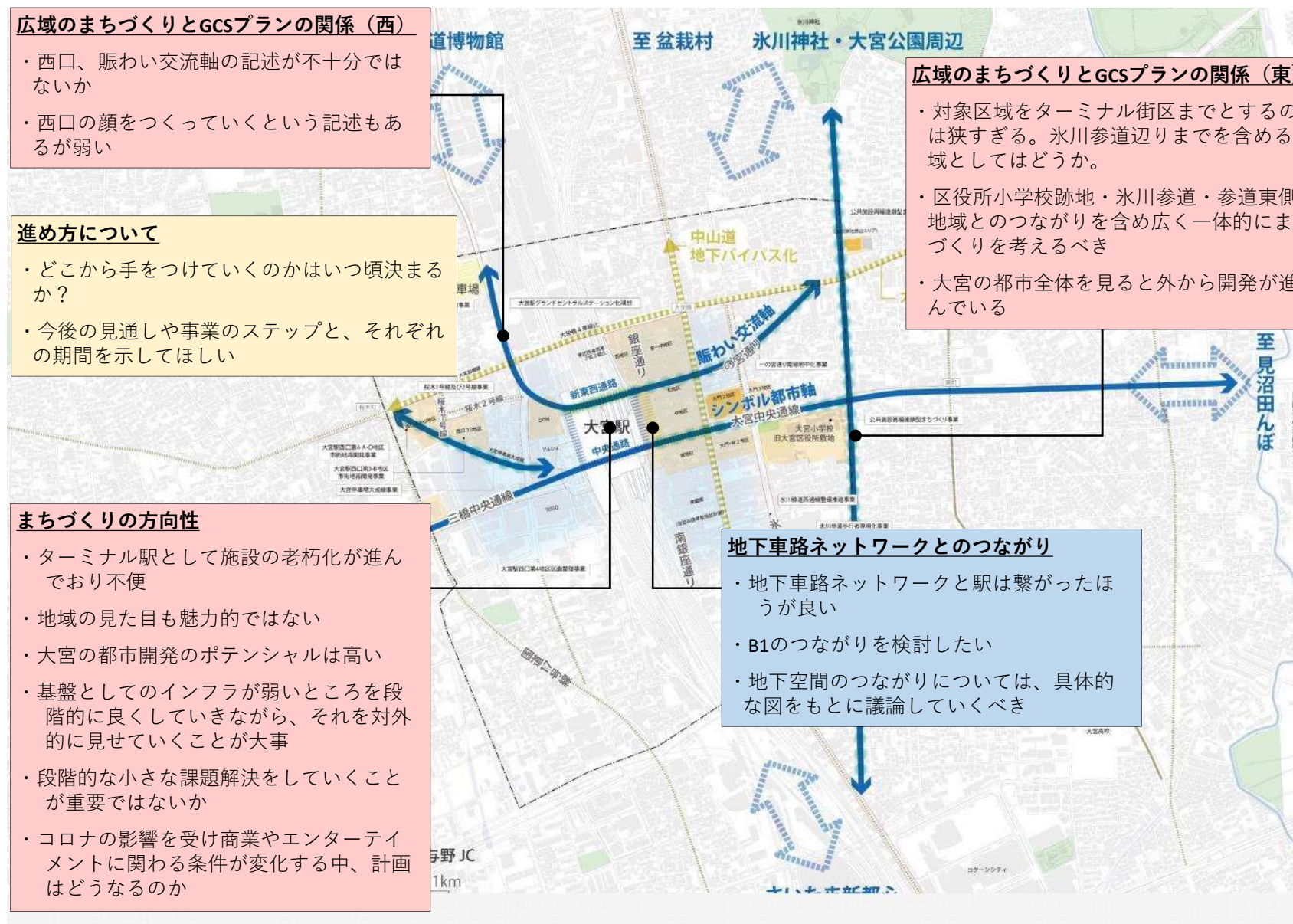
- ・ターミナル駅として施設の老朽化が進んでおり不便
- ・地域の見た目も魅力的ではない
- ・大宮の都市開発のポテンシャルは高い
- ・基盤としてのインフラが弱いところを段階的に良くしていきながら、それを対外的に見せていくことが大事
- ・段階的な小さな課題解決をしていくことが重要ではないか
- ・コロナの影響を受け商業やエンターテイメントに関わる条件が変化中、計画はどうなるのか

広域のまちづくりとGCSプランの関係（東）

- ・対象区域をターミナル街区までとするのは狭すぎる。氷川参道辺りまでを含める区域としてはどうか。
- ・区役所小学校跡地・氷川参道・参道東側地域とのつながりを含め広く一体的にまちづくりを考えるべき
- ・大宮の都市全体を見ると外から開発が進んでいる

地下車路ネットワークとのつながり

- ・地下車路ネットワークと駅は繋がったほうが良い
- ・B1のつながりを検討したい
- ・地下空間のつながりについては、具体的な図をもとに議論していくべき



テーブル毎の記録：8/20（木）cグループ

都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ2：「大宮駅周辺整備のツボとなる場所」、「重点的につながりを創出すべき場所」について

まちづくりの方向性

- ・人の賑わいが多い大宮で歩いて楽しいまちづくりを目指すべき
- ・駅前広場に人が集える場所が駅周辺開発の成功のカギ（例：東京駅丸の内）
- ・グランドレベルを大事にした計画にすべき
- ・デッキについては暗くなるため反対意見も多かった
- ・東西通路の検討に際してルミネの移転先の議論が必要
- ・賑わい交流軸上の東西通路と駅前広場、駅前広場と一番街、一番街と一の宮通りなど、各街路の結節点にポケットパークなど結節点となる空間整備をすべき

至 鉄道博物館 駅からの回遊

- ・ロータリーと東西通路の関係が切れているように見えるがこれで良いのか？

公園周辺

至見沼田んぼ

官民の土地の活用

- ・区役所跡地や図書館跡地等の活用が重要である
- ・地下利用を含めた民地の活用が重要
- ・立体都市計画制度の活用が重要
- ・狭い街路を改善していく官民のまちづくりが重要

至荒川周辺エリア

広域的な回遊性の向上

都市空間形成の目標

1. まちとえきをつなぐ回遊空間
2. ひとにやさしい立体的交通空間
3. 新たな価値を発信する先進的なまち
4. 安心安全の要となるまち
5. 市民が誇らしく思い、来訪者が感動する景観
6. まちの質や魅力が持続するしくみ



0 100 200 500m

至与野 JC

1km

大宮駅周辺地域の広域的な回遊性の向上

至 鉄道博物館 新東西通路

- いつ完成予定か？
→新宿等では工事に10年程度要している。現在事業間の連携も含めて調整中
- 歩行者交通量はどの程度を想定？
→東西通路+新東西通路の1/3程度か

公園周辺

至見沼田んぼ

至荒川周辺エリア

都市空間形成の目標

1. まちとえきをつなぐ回遊空間
2. ひとにやさしい立体的交通空間
3. 新たな価値を発信する先進的なまち
4. 安心安全の要となるまち
5. 市民が誇らしく思い、来訪者が感動する景観
6. まちの質や魅力が持続するしくみ

至与野JC

0 100 200 500m 1km

テーブル毎の記録：8/20（木）Dグループ

都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ2：「大宮駅周辺整備のツボとなる場所」、「重点的につながりを創出すべき場所」について

東西市街地の連絡性

- ・大栄橋は老朽化
- ・大宮では地上を鉄道が走っているため、地下での東西連絡がなかなか難しい

バリアフリー化

- ・西口のデッキがバリアフリー化されていないので、解消してほしい

駅のあり方

- ・駅から氷川の杜が感じられるようにできないか
- ・駅とまちの賑わい双方が重要

大宮にふさわしい都市づくり

- ・身の丈にあった再開発を推進すべき。タワーマンションは大宮らしくない
- ・世代によらず楽しめるまちであるべき
- ・「鉄道」や「盆栽」は大宮ならではの資源であるため、これらをキーワードにまちづくりを考えていくことも重要

至 鉄道博物館

新東西通路のあり方

- ・朝の鉄道の乗り換えが危険
- ・駅からまちへと出ていくことが重要
- ・新改札口は「氷川口」という名称に

新東西通路とまちのつながり

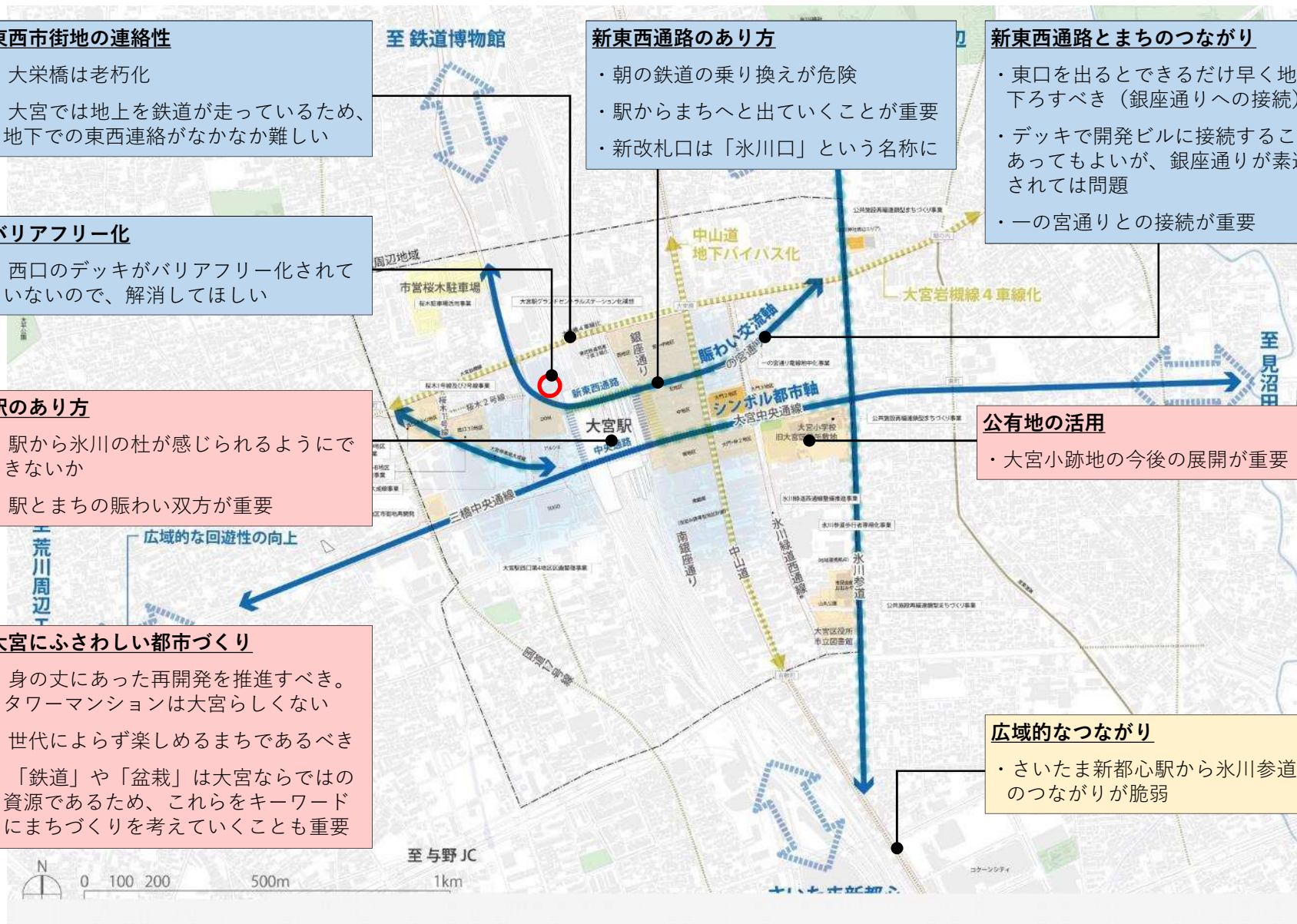
- ・東口を出るとできるだけ早く地上に下ろすべき（銀座通りへの接続）
- ・デッキで開発ビルに接続することはあってもよいが、銀座通りが素通りされては問題
- ・一の宮通りとの接続が重要

公有地の活用

- ・大宮小跡地の今後の展開が重要

広域的なつながり

- ・さいたま新都心駅から氷川参道までのつながりが脆弱



テーブル毎の記録：8/22（土）Aグループ

都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ1：GCSプラン2020について

今後の進め方

- ・10年後の目標、20年後の目標等を定めた方が良い。
- ・子どもや孫のために残す計画としたい。
- ・障がい者の方の意見も取り入れてはどうか。

交通システム

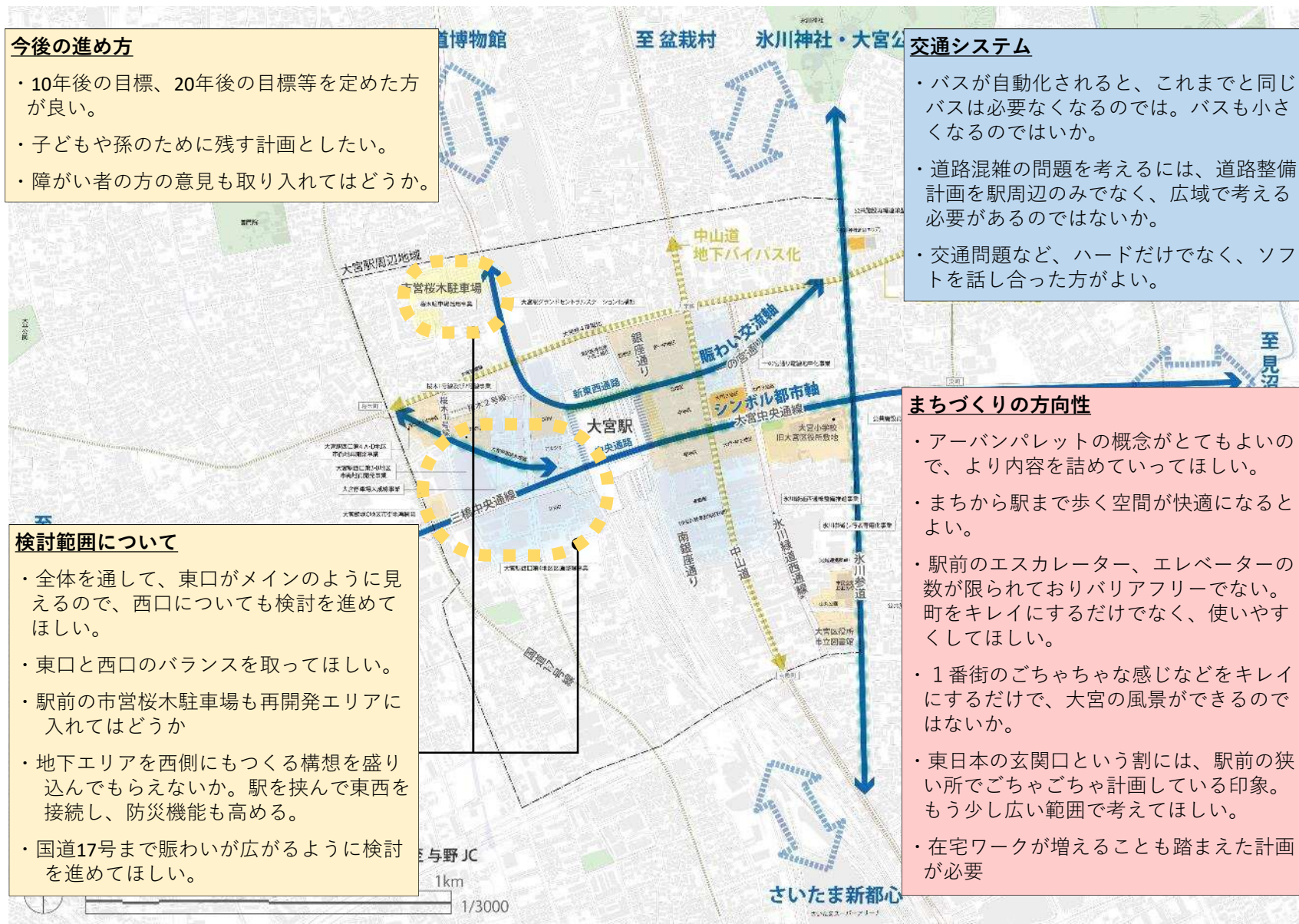
- ・バスが自動化されると、これまでと同じバスは必要なくなるのでは。バスも小さくなるのではいか。
- ・道路混雑の問題を考えるには、道路整備計画を駅周辺のみでなく、広域で考える必要があるのではないか。
- ・交通問題など、ハードだけでなく、ソフトを話し合った方がよい。

検討範囲について

- ・全体を通して、東口がメインのように見えるので、西口についても検討を進めてほしい。
- ・東口と西口のバランスを取ってほしい。
- ・駅前の市営桜木駐車場も再開発エリアに入れてはどうか
- ・地下エリアを西側にもつくる構想を盛り込んでもらえないか。駅を挟んで東西を接続し、防災機能も高める。
- ・国道17号まで賑わいが広がるように検討を進めてほしい。

まちづくりの方向性

- ・アーバンパレットの概念がとてもよいので、より内容を詰めていってほしい。
- ・まちから駅まで歩く空間が快適になるとよい。
- ・駅前のエスカレーター、エレベーターの数が限られておりバリアフリーでない。町をキレイにするだけでなく、使いやすくしてほしい。
- ・1番街のごちゃごちゃな感じなどをキレイにするだけで、大宮の風景ができるのではないか。
- ・東日本の玄関口という割には、駅前の狭い所でごちゃごちゃ計画している印象。もう少し広い範囲で考えてほしい。
- ・在宅ワークが増えることも踏まえた計画が必要



テーブル毎の記録：8/22（土）Aグループ

都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ2：「大宮駅周辺整備のツボとなる場所」、「重点的につながりを創出すべき場所」について

今後の進め方

- ・駅前広場に面した部分に早期に着工できれば、プロジェクトが動き出すのではないかな。
- ・今後の協議によって、内容が変わっていくのは分かったが、ある程度目途をつける時期も明確にした方がよい。

駅前の快適な動線

- ・エレベーター、エスカレーターの整備、また雨に濡れないようにする等、人にやさしいまちづくりを進めてほしい。
- ・地下、地上、デッキのそれぞれのレベルに改札を設けるように、鉄道事業者に交渉してほしい。効率的、快適なバリアフリー動線。
- ・雨がふった時には、周辺デッキに付随する施設の客数が減る。濡れないようにすることが重要。そのために東西地区の接続路も地下化することが重要でないかな。

駅周辺街区の土地利用

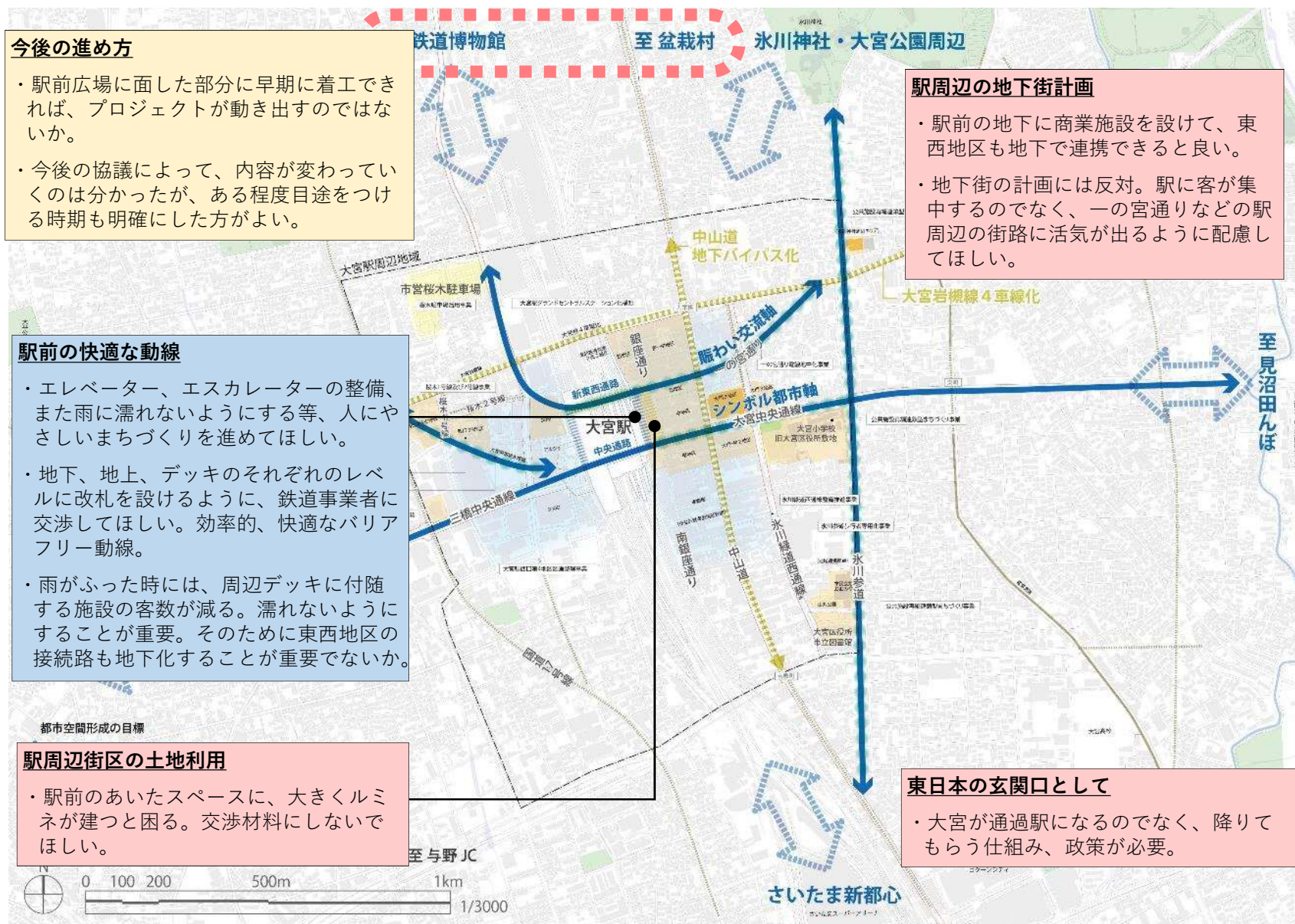
- ・駅前のあいたスペースに、大きくルミネが建つと困る。交渉材料にしないほしい。

駅周辺の地下街計画

- ・駅前の地下に商業施設を設けて、東西地区も地下で連携できると良い。
- ・地下街の計画には反対。駅に客が集中するのではなく、一の宮通りなどの駅周辺の街路に活気が出るように配慮してほしい。

東日本の玄関口として

- ・大宮が通過駅になるのではなく、降りてもらう仕組み、政策が必要。



テーブル毎の記録：8/22（土）Bグループ

都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ1：GCSプラン2020について

これまでの進め方

- ・ これまでは、限られた地権者、交通事業のための意見交換だったのではないかな様々な人の意見を反映できる体制にしてほしい
- ・ 意見を言っても、反映されなかった
- ・ 中地区は事業協力者が決定し、事業が動き出すが、「こういうまちにしたい」という議論をもっとするべき

今後のまちづくりに対する危機感

- ・ 埼玉県は人口が減り始めたのに、バブル期の延長のような計画に感じる
- ・ GCSプランはコロナ前の情勢で検討したもの。それで取りまとめた良いのか
- ・ オフィス、ホテル、マンションの需要も傾き、長期的なプランとしてふさわしい視点が必要
- ・ 議論だけを重ねるのではなく、実行に移す段階だと思う
- ・ とにかくこの1年間の検討が重要
- ・ 10～50年スパンでまちづくりを考えるべき。今後は創業できるまちづくりが必要

駅周辺街区の土地利用

- ・ 駅前の再開発は、とも同じような店舗が入るようでは駄目
- ・ 駅前の土地は地価が高いのに、交通空間を広げるだけでは勿体ない

駅周辺の活力創出

- ・ オフィス床を増やし、世界的な企業、優秀な企業が集まり、働けるまちにすべき
- ・ 本社が東京にある企業が入居しても、税金は地元に残らないのではないかな
- ・ 大宮より先の沿線住民が東京まで出なくても用事を済ませられる。そうした利便性を活かした企業誘致ができると良い
- ・ コロナ後のオフィス需要の変化に対応が必要
- ・ 地域経済の発展に繋がるような民間提案を受け入れる準備が必要



テーブル毎の記録：8/22（土）Bグループ

都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ2：「大宮駅周辺整備のツボとなる場所」、「重点的につながりを創出すべき場所」について

駅周辺街区の土地利用

- ・東口のワクワク感を残してほしい

新東西通路

- ・浦和駅ではすぐ東西通路ができたが、なぜ大宮駅で時間がかかるのか
- ・浦和駅の東西通路は緑の配置も良く、快適に通れる

駅の観光案内

- ・駅の観光案内所が、見た目からは案内所だとわかりにくく機能していない
- ・川越駅の案内所はわかりやすい
- ・姫路駅では10か国語のマップで案内していると聞いた
- ・最初の計画から位置付けを入れておくべき

南銀座商店街の活性化

- ・ミュージカル等のエンターテインメントのある場所があると良い
- ・商店街を文化・芸能を発信できる場にしていきたい
- ・古いまち並みがあり、映画等の撮影でよく使われる
- ・毎月第3水曜にパトロールをしており、治安は良い

中央通りの緑化

- ・周辺の緑を引き込む軸になるのではないかと
- ・強剪定になっているのが残念
- ・車道中央の街路樹は何のためか？歩行者のためにならない。歩道側にあれば、沿道も魅力的になる

文化の発信

- ・区役所跡地は、市民が行きたいと思えるようなまんが村などとし、文化の発信できる場所になってほしい
- ・文化の発信場所は鉄道博物館や盆栽村しかない。美術館も浦和に行ってしまう
- ・大道芸ができる空間があると良い
- ・文化資源が離れて点在している。バスでつないで回れるようにしてはどうか

一宮通りの緑化

- ・幅員がそれほど広くない。緑を増やすのは難しい？

氷川参道

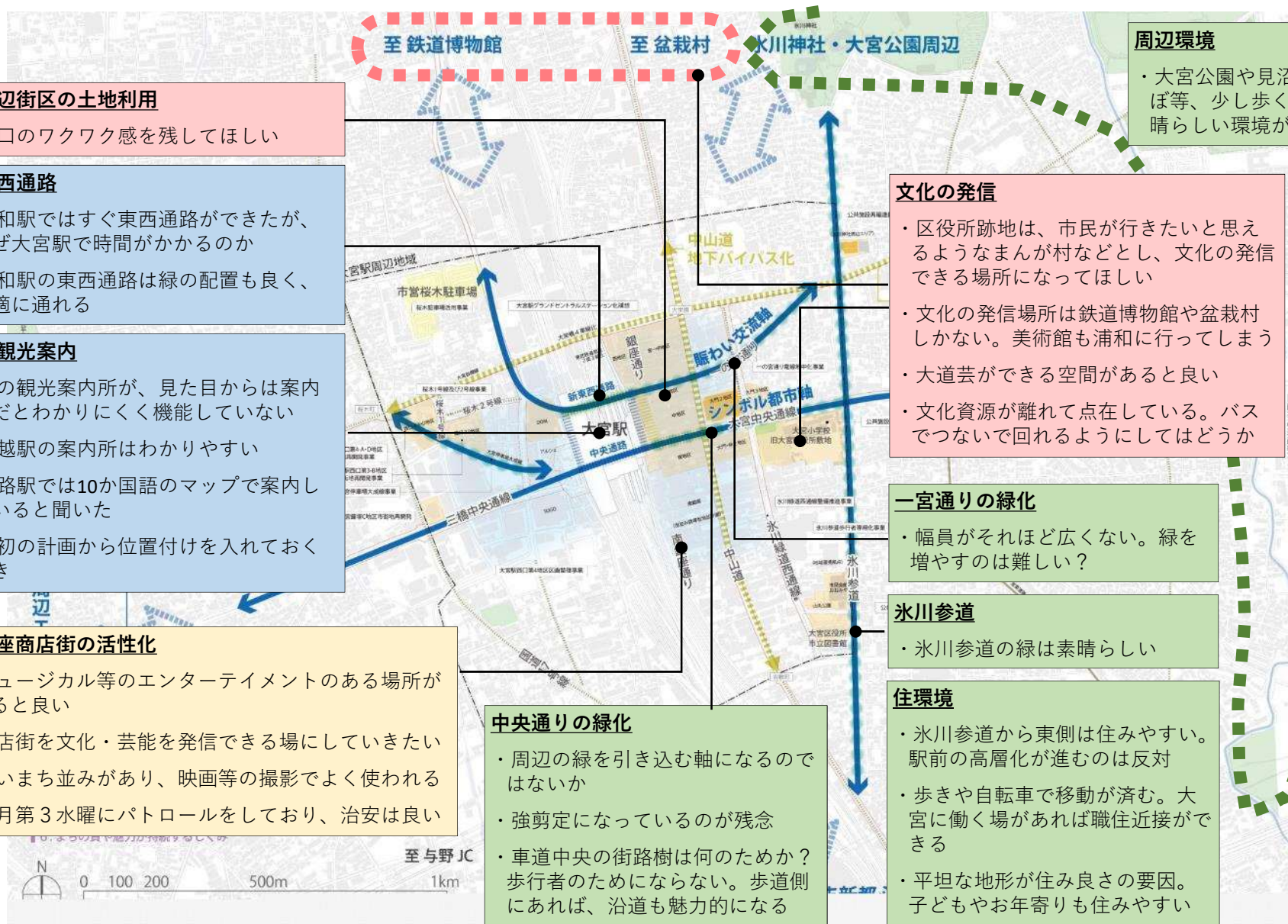
- ・氷川参道の緑は素晴らしい

住環境

- ・氷川参道から東側は住みやすい。駅前の高層化が進むのは反対
- ・歩きや自転車で移動が済む。大宮に働く場があれば職住近接ができる
- ・平坦な地形が住み良さの要因。子どもやお年寄りも住みやすい

周辺環境

- ・大宮公園や見沼田んぼ等、少し歩くと素晴らしい環境がある



テーブル毎の記録：8/22（土）cグループ

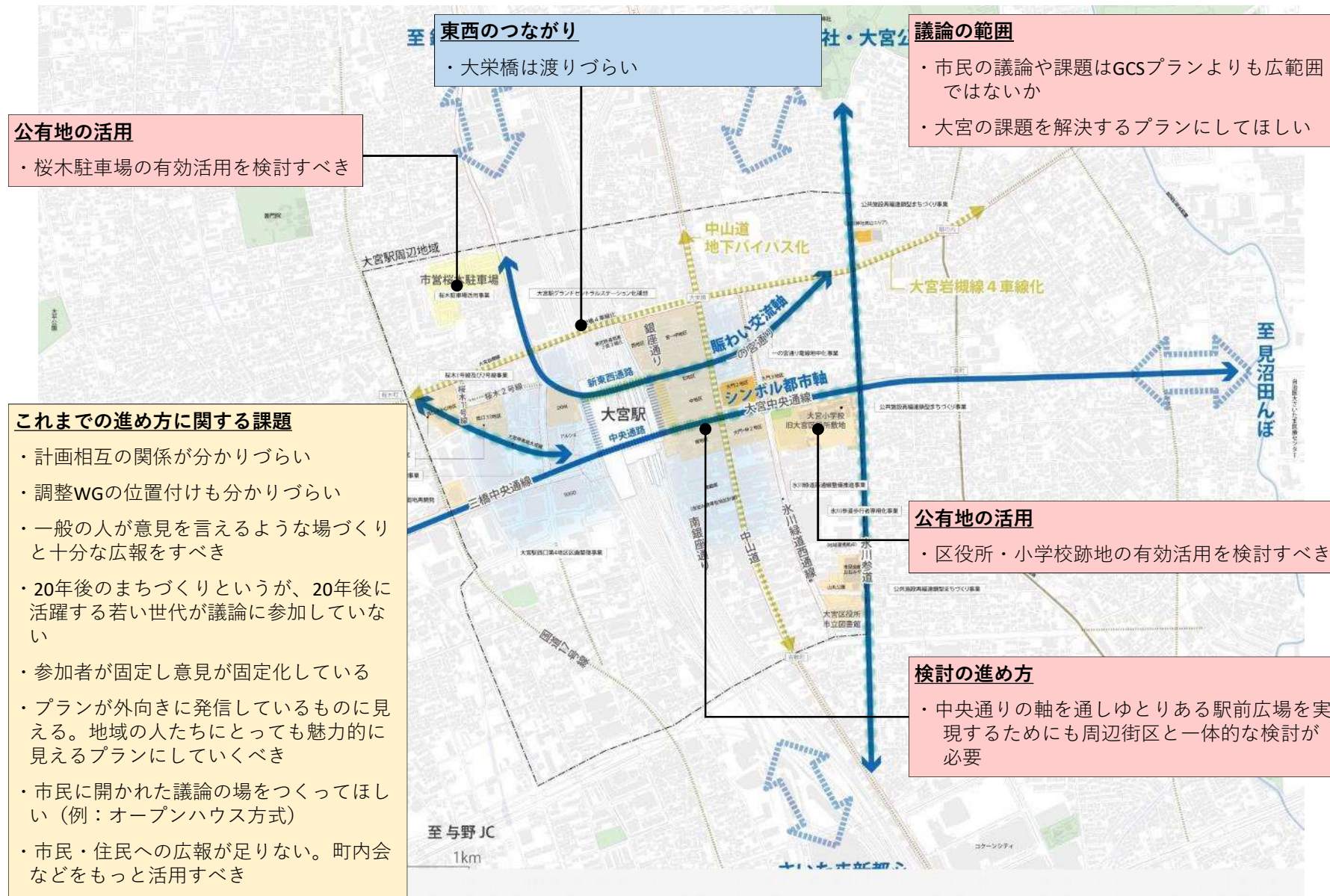
都市像
地区全体

環境
景観

交通
動線

その他
広域

テーマ1：GCSプラン2020について



東西のつながり

- ・自転車での東西の行き来は難しい
- ・西側の住民が東側に来やすい環境整備をすべき

公共交通

- ・コミュニティバスや公共交通のネットワークの改善が必要

まちづくりの展開

- ・西口も新しい開発計画の時期であり東口と連動していきたい

新東西通路と歩行者ネットワーク

- ・口の字の歩行者ネットワークを24時間開放すべき

景観協議の仕組み

- ・景観協議の仕組みをつくっていく必要がある

駅とまちとの関係づくり

- ・まちが見える駅と見せたい街をつくってきた（例、参道の緑が駅から見える）
- ・駅に閉じずに駅から街へ人がつながるまちづくりをどう実現していくかが重要
- ・商業が主役の時代ではなくっていく中で何の施設をつくれば人が呼べるのか考える必要がある
- ・大宮らしいまちづくりを広げていく

意見用紙で頂いた意見

Q1.GCSプラン2020について

●スピード感のあるプランの実行

- ・今まで3年間での会議での良い点悪い点を出す必要あり。絵は出来たのならば、地域を決めて、実行に入りたい。地権者さんの意見を反映すべき。
- ・早く実現して欲しい。市長からもっとアピールを。
- ・全体スケジュール、予算はどうなっているのでしょうか？具現化していかないと市民の熱もさめてしまうのではないかと思います。

●段階的な整備が必要

- ・緊急性（首都直下型地震など）を優先し、まず開発をはじめてみるのは多くの市民の納得が得られると思います。
- ・本日の質問にも出ておりましたが、どこから先行して整備していくのか（ケース1、ケース2…などでも良いが）、又、時間軸をどう考えているのかを示した方が良いと思います。又、今でも出来ること、将来的に大きく出来ることの仕分けをして常に動いている（改良）ということが開発を進めていく上で必要であると思います。
- ・協議の中でも出ましたが、やはりスピード感が欲しい。これから10～20年かかる事業なので、その間このままの街ではさらに古い街になってしまう。GCSとは別の問題かもしれないが、まちを改修しながら開発を進めていくのも必要なのではないか。
- ・整備は地下空間から順番に行なうことになると思います。

●ポストコロナを見据えたまちづくり

- ・ポストコロナの魅力あるショッピングゾーンはどんな形が必要なのか、ウーバーイーツで食べてアマゾンで物を買ってが豊かな人間生活ではないと思うので楽しい街、行きたくなる街には何が必要か。
- ・ポストコロナのまちや駅のあり方に触れた内容にしてほしい。関連して、5GやMaaSなど次世代のまちづくりやスマートシティにつながる視点を盛り込んだプランにしてほしい。

意見用紙で頂いた意見

Q1.GCSプラン2020について

●西口側についての記述整理

- ・賑わい交流軸に対する記述をもう少し付け加えるべき。特に、西口側の記述を整理するべき。

●南側の地区も含めた駅前広場の検討

- ・「運命の10年」を少し伸ばし南地区、高島屋側の開発と一丁目の再開発をあわせて考え駅前中央通りを二丁目と同じ道幅に真っ直ぐ広げる。そのためにバス停は広げるまで分散配置とし旧区役所跡地、二丁目地区を利用する。駅前広場をバランスのとれたゆとりのあるビル、ゆとりのある広場にし多様性のある商都、象徴性のある緑、多様な街並み、風格ある大宮駅「東日本」を魅せる街にしてゆくとよいと思いますが、高島屋側南地区を含めた広場を考えていただきたい。

●アーバンパレットについての検討深度化

- ・歩車分離による、アーバンパレットの拡大と充実の検討が大事です。

●広報の充実

- ・もっとわかりやすい広報をして欲しい！地元の人達の井戸端会議に乗るようになるような広報を！

●大宮らしいプランの検討

- ・どこの都市でもできるプランではなく、大宮でしかできないプランをつくってください。大宮の歴史を学んでください。

●より開かれた場での検討

- ・今後のGCS検討体制に向け、デザイン調整WGの位置が市民参加を明示したのは良かった。ただし、プラン策定後の大宮ビジョン懇談会にも、地権者、事業関係者のみならず、“地域代表”も加えるべきである。よりよいまちづくりに向けて参加、参画、協力したと思っている市民は多数いる。開催される会議の透明性、公開性を高める意味で、広く傍聴ができる会議として進めて頂きたい。これだけの規模の再開発です。是非、日本の組織系建築設計事務所とのコラボを実現していただきたい。

意見用紙で頂いた意見

Q2.大宮駅周辺整備のツボとなる場所/重点的につながりを創出すべき場所

●住みたいまちランキングに誇れる街づくり

- ・住みたいランキングに誇れる街づくり

●公有地の活用が重要

- ・旧大宮区役所、大宮小学校、旧図書館跡地利用、氷川参道の緑の保全と延伸
- ・区役所跡地を上手く活用していく事によってまちの感じが変わっていくと思う。皆様も大切な場所と感じているよう。人を大切に作るまちづくりをして欲しい。
- ・区役所跡地を活用すべき。これを今後議論を活性化すべき。プランの具体化に向けて、時間軸を整理し議論を活性化すべき。

●新東西通路の早期着工

- ・新東西通路を早く着工して欲しい。JRの通路への出口は「氷川口」か「一宮口」にしてほしいです。
- ・新東西通路の早期着工。東口側の出口は銀座通りにすべき。
- ・まず東西通路をつくりましょう。

●インフラ整備が喫緊の課題

- ・BCPの観点からインフラ整備が、喫緊の課題だと思います。電気、ガス、水道が悲鳴を上げています。その観点から公共整備（公共財を生かした）進めていくことが必要ではないでしょうか。

●施設と道路の接点が重要

- ・GCSで整備が検討されている施設と民有地や道路との接点の空間の考え方を議論できるとよい。例えば、駅前広場ができると銀座通りはどうなるか、新東西自由通路を降りた部分の空間はどうなるか等。

意見用紙で頂いた意見

Q2.大宮駅周辺整備のツボとなる場所/重点的につながりを創出すべき場所

●氷川神社、大宮公園へのつながり

- ・地上レベルの空間を大事にした方が良くと思います（歩ける街）。集客装置としての氷川神社、大宮公園へのつながりは重要と考えます。
- ・アーバンパレットを出来るだけ小さくし駅から参道が見える街に。
- ・新都心から日本一長い参道をゆっくり歩く。

●各ビルの地下レベルの統一

- ・開発される各ビルに設計コードとして地下のレベルを統一して公共が道路の下を地下道をつなげて大地下街にして欲しい。

●子供が安心して歩けるまちづくり

- ・まずは、全体像を早く決める、そこから具体的な話にしていけば時間が掛からないのでは。車路は全て地下でつなげていくまちづくりをしたいと思います。子供が安心して歩ける街づくり。

●大宮の名前を象徴するものになって欲しい

- ・大いなる宮居からついた大宮の名前を象徴してもらえるような物にして欲しい！

●観光案内所設置の早期検討

- ・会議でも発言しましたが、これまでの計画の中に”観光案内所”が含まれていません。東日本の玄関口、ハブとしての機能をいうのであれば、例えば姫路市観光案内所（ナビポート）等を参考に、さいたま市全域の案内までできる規模のものがが必要です。これは計画のはじめから入れておかないとできません。

意見用紙で頂いた意見

Q3.今後の進め方について

●告知や参加の方法を工夫し、多様な方の参加を促進

- ・参加者についてですが、学校に子供を通わせているようなPTAの方とか、保育園の保護者の方とか、HPだけで報せるのではなく、もっと色々な境遇の方が参加できるように呼びかけると良いと思います。学生さんと呼んでみても良いと思います。
- ・20～30年後に中心になる若い世代を入れて欲しい！125才まで生きるつもりなので見てみたい！
- ・若い方の参加を希望、広く募集して小学校高学年～40代まで位の街を今後使う方達の意見を聞いて下さい。登録制にして、ズームやスカイプを使つての参加であれば時間的な問題の参加ができると思います。（わの会）
- ・地権者、商店会長、町内会長の出席を望む。
- ・現状はコロナ対策もあって厳しいと思いますが、例えば小中学校の子ども達の参加を得て、子ども目線での考えを聞く場を持つ。チーム大宮や自治会からも意見を聞く場を持ち、幅広い立場や世代の方の参加をうながす。

●市民や来街者の意見把握も検討

- ・このように地元の方や事業者がフラットにまちづくりを議論できる場は非常に重要だと思うので、定期的で開催してほしい。また、まちを使う人（市民、来街者）の声を聞いて反映できる場や方法（アンケート・インタビュー等）も検討してほしい。

意見用紙で頂いた意見

Q3.今後の進め方について

●検討経緯についての説明が必要

- ・採用されない意見・提案について、技術的に～の一言で片付けず、具体的に取り入れられない理由を説明してほしい。少数意見だけでなく、多数寄せられた意見等についても納得のいく説明をこれまで受けてきたと思えない。

●議論の進め方

- ・一般論ではなく、具体的な議論をしたいです。
- ・2時間の枠での会議なのでディテールの話をするのか全体なのかをまず決めて、都市計画を進めて行くのが良いと思います。
- ・話しやすい場作りでありがとうございました。
- ・具体的な”事実”をつくり出し、広く関係者や市民の実感と共感を得る。それがどんな形になるか期待したい。

●コロナ対策

- ・密に注意ですね。